

様式3

概要報告書

事業種別	県域安全事業
団体名	特定非営利活動法人 阿賀野児童福祉会
事業名	『子どもの不思議。すべてに理由がある』 ～親も子も一緒に育つ～

児童虐待。総数自体が増加したことに加え、耳を疑う内容も増えているように思える。

そんな中、当法人が取り組んだ児童虐待防止活動は子供を理解することである。虐待の一つの要因として「子どもがわからない」というものがあるが、そんな大人（親）の言うことなど子供がわかるはずもなく、「言うとおりに動かないから暴力をふるう」などはよくある事例である。それならば、子供を理解できれば虐待は無くなる（もしくは減る）との逆説が成り立つ。そのための講習会を保育関係者、保護者に受講してもらい、その後に親子で体験学習を行う。というものだ。

6月は保育関係者に研修会の形式で行った。科学的な見地からの講演会をわかり易く行い、その内容を各地の保育所長のパネル・ディスカッションで具体的にし、ワークショップで参加者が各々の体験を基に現実に照らし合わせる。

7月は6月に受講した保育関係者が保護者とともに参加し、講演会やパネル・ディスカッションで新しい考え方を知ってもらった。

8月は7月に受講した保護者が子供とともに自然体験学習に参加した。



注) 上記の報告書は、助成対象団体が作成した報告書です。(公財)日工組社会安全財団では、記載された事業の内容等に関するお問合せには対応できませんのでご了承ください。